



皆さんこんにちは、お元気ですか？今月は、一番辛い1か月間、どうやって耐えますか？毎年、毎年、寒さを我慢するのならば、早めに一年中暖かい国へ引っ越した方がいいかと真剣に考えています。しかし、私は今も母国に住んでいないのに、さらに別の海外に住むのは、どうでしょうか？

外国への移住について、皆さんは考えたことがありますか？日本ではなく、アメリカ、イタリア、メキシコ等に移住し、年をとるって、想像できますか？考えてみると簡単ではないでしょう！さて、今月のテーマは「ドイツにおける移民」。これをテーマにしようと思ったきっかけは、昨年11月に宇都宮大学での講演会に参加したことです。まずは、日本とドイツ、両国を比べ、統計を見てみましょう。

法務省での2007年12月の統計によると、日本の外国人登録者数は2,152,973人で、総人口の1.69%です。ドイツに関しての統計をみると、ドイツの人口は8,200万人。その中には730万人の外国人がいて、全体の9%近くに当たります。しかし、パスポート（ドイツ国籍でない人たち）ではなく、移民、または移民の背景を有する人たち（その人または両親が外国で生まれた人たち）を含めてみると違う数字が出てきます。その数字は19%。高いと思うかもしれませんが、ドイツの歴史をみるとよく分かると思います。

1950年代、第二次世界大戦が終わって、移住労働者たちが出てきました。その時「外国人労働者」と呼ばれた人たちの大部分は南ヨーロッパや東南ヨーロッパ出身で、労働不足対策が終わって、故郷へ帰っていきましたが、ドイツの生活と仕事のためにドイツに残った人たちも少なくありませんでした。あとから来たトルコ人のなかでもドイツに留まった人たちは多くいました。その結果、ドイツは外国人労働者の国から少しずつ管理統制された移民の国へ変わってきました。その上、ドイツにはもう1つの重要な移民グループ、旧ソビエト連邦からのドイツ系民族がいて、「異邦人」という呼称が付けられました。

これら2つのグループが移動してきたことにより、国民あたりの移住者の数が80年代には伝統的な移民国家であるアメリカ、カナダ、オーストラリアを越えるほどになりました。9%近くのドイツに住んでいる外国人（ドイツ国籍ではない人たち）に、ドイツ国籍を新たに取得した従来の在留外国人約150万人と帰還移住者450万人が加わっています。これは6人に1人の住民が移住してきたか移住者家系の出身であることを意味しています。外国人のほぼ95%が西ドイツ、大都市に暮らしています。一部の大都市では人口の30%以上が外国人です。外国人の中ではトルコ国籍の180万人が最大のグループです。それに次いで多いのはイタリア人（55万人）、セルビア/モンテネグロ人（50万人）、ギリシャ人（32万人）、そしてポーランド人（30万人）で、クロアチア人、ロシア人、ボスニア人、ウクライナ人、ポルトガル人、スペイン人がこれに続きます。100万人以上が難民だそうです。

そういう状況にあるドイツでは、皆さんが気になるといいますが、経済・社会・宗教的な問題がないわけではありません。移民に関する「統合」について来月議論したいと思いますので、しばらくお待ちください。どうぞよろしくお願いいたします。

国際交流員ウリさんのびっくい箱

第12回

～台湾の家庭料理・台湾のお話～

メニュー：焼米粉とワンタンスープ



- 日 時 2月21日(土)午前11時～午後1時
- 場 所 きらら館 調理室
- 講 師 野口 留美さん(台湾出身)
- 定 員 20名
- 参加費 1人500円
- 申込み 2月9日(月)から2月19日(木)までに生活課へお申し込みください。先着順ですので、定員になり次第受付を終了します。

2月9日(月)から2月19日(木)までに生活課へお申し込みください。先着順ですので、定員になり次第受付を終了します。

☎40-5555 E-mail : 50002@city.shimotsuke.lg.jp